

平成 15 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 大 京
代 表 者 名 取締役社長 長谷川 正治
(コード番号 8840 東証・大証 第1部)
問 合 せ 先 執行役員広報部長 大越 武
TEL : 03 - 3475 - 3802

中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 15 年 5 月 23 日の決算発表時に公表いたしました平成 16 年 3 月期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)の中間業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年3月期の中間業績予想数値の修正(平成15年4月1日～平成15年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	135,000	300	300
今回修正予想(B)	145,600	1,300	3,200
増減額(B-A)	10,600	1,000	2,900
増減率(%)	7.9%	333.3%	966.7%
前期(平成15年3月期中間)実績	134,981	861	405,439

2. 平成16年3月期の中間連結業績予想数値の修正(平成15年4月1日～平成15年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	144,000	900	300
今回修正予想(B)	155,600	2,100	3,300
増減額(B-A)	11,600	1,200	3,000
増減率(%)	8.1%	133.3%	1,000.0%
前期(平成15年3月期中間)実績	145,262	1,776	383,738

3. 理由

(1)業績予想の修正の理由は以下のとおりであります。

当社の主要な事業である不動産販売事業において、グループ連携強化による組織的販売体制の定着により、マンション販売が好調に推移し、売上高が当初予想より106億円上振れる見込みとなりました。

その結果、経常利益は13億円となり当初予想に比べ10億円の増益となる見込みです。

また、中間純利益につきましては、経常利益の13億円に加え、株式市場の回復に伴う投資有価証券の売却による特別利益が19億円生じたことにより32億円となり、29億円の増益となる見込みです。

(2)連結業績予想の修正の理由は以下のとおりであります。

主に連結財務諸表提出会社(当社)の平成16年3月期の中間期業績予想の修正に伴い、業績予想の修正を行うものであります。

以 上

中間業績予想の修正の概況(単体・連結)について

本日、株式会社大京は、平成 16 年 3 月期中間業績予想を修正し、東京証券取引所に「中間業績予想の修正に関するお知らせ」を提出いたしましたのでお知らせいたします。

中間業績予想(単体・連結)の概要(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)

売上高・損益について

売上高につきましては、マンション売上高が好調に推移したため、単体および連結とも前回発表予想に比べ約 8%の上振れとなる見込みです。

経常利益につきましては、マンション売上高に加え、海外を始めとしたグループ各社の業績が寄与し、前回発表予想に比べ単体 10 億円、連結 12 億円の上振れとなる見込みです。

また、中間純利益につきましては、株式市場の回復に伴う投資有価証券の売却による特別利益が 19 億円生じたことにより、単体 29 億円、連結 30 億円の上振れとなる見込みです。

【単 体】

(単位:百万円)

	前回発表予想	今回発表予想	増減額	増減率
売 上 高	135,000	145,600	10,600	7.9%
(内、マンション)	(130,000)	(139,100)	(9,100)	(7.0%)
経 常 利 益	300	1,300	1,000	333.3%
中 間 純 利 益	300	3,200	2,900	966.7%

【連 結】

(単位:百万円)

	前回発表予想	今回発表予想	増減額	増減率
売 上 高	144,000	155,600	11,600	8.1%
(内、マンション)	(132,000)	(141,600)	(9,600)	(7.3%)
経 常 利 益	900	2,100	1,200	133.3%
中 間 純 利 益	300	3,300	3,000	1,000.0%

完成商品について

好調な中間期のマンション売上高を受け、当中間期末のマンションの未成約戸数は、単体および連結ともに大幅に減少しております。

(マンション未成約完成商品残高の推移)

		15年9月末	15年3月末	14年9月末	(-) 対前期末 増減額	(-) 対前年同期末 増減額
単体	戸数 (戸)	1,694	2,688	2,421	994	727
	金額(億円)	720	980	827	259	106
連結	戸数 (戸)	1,739	2,787	2,435	1,048	696
	金額(億円)	727	995	829	267	101

その他の主要な事項

(有利子負債残高の推移)

マンション売上高が好調なこと、および、完成商品残高の減少により、有利子負債残高は順調に減少しており、当中間期末の有利子負債残高は、前年同期末に比べて単体で 412 億円、連結で 507 億円と大幅に減少し、それぞれ 4,489 億円、4,736 億円となっております。

なお、下期のマンション売上高の進捗および完成商品の一層の削減により、当期末の有利子負債残高は計画に沿ったものとなる見込みであります。

(単位：億円)

		15年9月末	15年3月末	14年9月末	(-) 対前期末 増減額	(-) 対前年同期末 増減額
単 体		4,489	4,655	4,902	166	412
連 結		4,736	4,890	5,243	153	507

以 上